

みどころ

Mikiyama

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります

令和6年7月上旬

三木山森林公園 検索

カラー写真入りの「みどころ情報」をHPIにて掲載しています



ネムノキ (マメ科) ①

枝先に淡紅色の花を付け、遠くからも良く目立ちます。夜になると小葉が閉じて寝ているように見えるので、ネムノキと呼ばれます。

ネムノキの花 (マメ科)

雄しべが多数あり、花の外に長くつき出て目立ちます。



アカメガシワの雌花

アカメガシワの雄花

(トウダイグサ科) ②

雌雄異株 (雌株と雄株に分かれている植物) のため、葉が同じ形の雌株と雄株から形の違う雌花と雄花が咲き、不思議な感じがします。



クチナシ

(アカネ科) ③

強い芳香のある白い花を咲かせます。



ドクダミ

(ドクダミ科) ④

昔から民間薬として知られています。



セイヨウニンジンボク

(シソ科) ⑤

花や葉に香りがあり、花が少ない夏に青い花を咲かせます。



ネジバナ (ラン科) ⑥

芝生の雑草という認識もあるようですが、ラン科の植物です。



ヤブカンゾウ

(ツルボラン科) ⑦

最近、生物の分類が大きく変わりつつありますが、ヤブカンゾウでも、科名がユリ科→ススキノキ科→ツルボラン科 (ワスレグサ科) とよく変更されているようです。



ムラサキニガナ

(キク科) ⑧

背が高く 120cm 程度になり紫色の花を咲かせます。ニガナの仲間ではありません。



ニホンアカガエル

(アカガエル科)

普段は、森の地上で生活しています。1月~2月頃、当公園の上池から下池につながる小川に産卵します。



ガクアジサイ

(アジサイ科) ⑨

両性花を中心にして、装飾花がその周りを飾ります。



オオシロカラカサタケの幼菌 (ハラタケ科)



オオシロカラカサタケ (ハラタケ科)

有毒。形が丸い幼菌が成菌になると水平に開き、大分印象が変わります。草原でよく見かけます。